

すべての民主的学友は民学同に結集しよう

ミッドウェー横断飛行禁止斗争をいふ必要がある。既に、社会各党、総評をはじめとした労組によって10月1日に大規模な集会が準備されている。我々は、かかる労作者と連帯し、全国の学友と共にミッドウェー阻止斗争を闘っていかねばならない。

おとに、関西における拠点ナイク基地であり、今だ設置を阻止しつづけている能勢ナイク設置を断固阻止する斗いである。能勢においても10の全関西集会所が予定され、総評・社会党を中心にした全関西の反基地同盟等の一連連集集がもたれようとしている。これに市大の統一した学友の結集の下、参加してゆこう。既にこれに向けては、%に全市大実行Cが結成されている。全市大の学友諸君、能勢ナイク設置阻止全関西現地集会所に結集しよう。

先日、大阪四平連のアピールに応じて、平和反戦学生連盟の呼びかけで、106能勢全関西学生共同行動をめぐり、市大実行委が結成された。

その会議にオササバー参加した、市大學生「共斗」、平和連盟の代表は、106能勢斗争の任務①全関西の学生共同行動をめぐること、②そのために市大の統一した斗いの準備をすすめることにおいて一致を見たにもかかわらず、「市大実行委が104全関西学生実行委に結集しない限り、結成に参加できない」と自らのヘゲモニー主、ロフト主義を吐露した。そしてその論理が破産するで、「スローマンに総評連帯がない」と彼ら「得意」理由を提出し、それも論破されるや、「どこにか全関西学生実行委に結集せよ」と居座る態度である。學生「共斗」諸君、諸君の「全関西メー」は春闘斗争の市大統一行動で破産したのではなかったか？ 諸君が真106斗争の意義を理解するものであれば、直ちに、悪しきヘゲモニー主義、ロフト主義を放棄し、106に向けて、市大統一行動に向けた努力を開始せよ。

106能勢斗争の意義を理解できない学生「共斗」のヘゲモニー主義を批判する

先日、大阪四平連のアピールに応じて、平和反戦学生連盟の呼びかけで、106能勢全関西学生共同行動をめぐり、市大実行委が結成された。

「韓国学生を決起断固支持？ 朴政権による運動弾圧糾弾？」

全大中事件を始め、朴政権下の「韓国」における自由と民主主義に対する弾圧が強化されている中で、昨日のソウル大學生の決起は、71年の懲りや令以采、鎮圧された」と伝えられていた学生運動が韓国に受け継がれていることを示した。「朴政権打倒」「KCA解体」「対日親善反対」等を掲げた学生を決起を支持し、彼らへの弾圧を我々は、断固として糾弾しなければならぬ。

1973. 10. 3

民主主義学生同盟機関紙 デモクライト 43号

10月10日発売

価 550円

知識と労働社

◎特集＝日本共産党の思想と政策

・史的唯物論の名による史的唯物論の改造
—林直道「史的唯物論と経済学」批判—

—加藤賢司—

・人民的議会主義とは何か
—それはどのように政治斗争を矮小化しているか—

—石本 功—

・原水禁絶分裂の11年
—原則的統一のための基礎はどこにあるか—

—杉本若二—

好評発売中

50円ナリ